



## 特集 Let's Read!

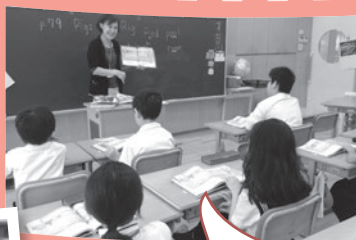


Let's enjoy reading English books!

Let's Read! ワークショップが始まって4年目を迎えました!

Let's Read! は、小学校英語教育を豊かにするために、国際教育センターが主宰する放課後ワークショップです。

希望者を募って少人数で実施するワークショップで、「音と文字のつながりを意識することによって、英語の本を読めるようになる」ことを目指しています。



Step  
1

低学年コース

英語の音・リズム  
に親しみながら  
音読を楽しむ

Step  
2

中・高学年コース

自力で読む  
楽しさを  
体験する



### 担当の先生からのコース紹介

成蹊小学校 英語科 岡崎 啓子 先生

Let's Read! は、フォニックス (英語の文字と音のルール) を意識しながら、英語の本を読んでいくワークショップです。低学年では『英語の音、リズムに慣れ親しみながら音読を楽しむ』ことを目標とし、Aコース (1年生) では、*Brown Bear Brown Bear, What Do You See? Goody Goody Gumdrops!* Bコース (2年生) では、*Jack and Zak Where's Sam?* を読んでいきます。

Cコース (3・4年生) では、『自力で読む』ことを目標に、*Building Blocks Library (BBL) 0~3* を読んでいきます。3年生以上の英語の授業でも『多読活動』の教材として使用しているシリーズです。一つのレベルに複数の話が入っています。Level 1 book 1のお話は、20語でできていますが、少しずつ単語数が増えていきます。文法を制限し、フォニックスのルールを基に書かれたお話に取り組むことで、実際にルールを使いながら読み進める体験ができます。音と文字とのつながりを確認しながら、自分で読めたら、講師の先生に読みのチェックを受け、次に進んでいきます。指導者は、mpiセミナー講師の伊藤先生、近藤先生です。

成蹊小学校 国際学級担任 眞上 藍 先生

Dコース (5・6年生) では、*Swimmy The Letter!* に挑戦しますが、2年目の受講者 (6年生) は、*Oxford Skills World Reading with Writing 5, 6* から好きな話を選んで読んでいきます。

このテキストの大きな特徴は、内容が多岐にわたっていることです。珍しいフルーツ・家事代行ロボット・金管楽器・エジプト旅行記・水族館・方位磁石について等、子どもたちの興味を引きつけるような読み物がたくさん入っています。

子どもたちはテキストから、読み物を自由に選びます。自分で一通り読めたら教員のところに来て、ストーリーを音読し、内容がわかっているかのチェックを受け、合格がもらえたら次の読み物を探していきます。1回のワークショップで大体3つのストーリーを読み終えます。子どもたちが読めない英単語に出会った時は、フォニックスのルールを使うようにアドバイスしています。読み物の長さも約200~300語と多くなりますが、果敢にチャレンジしています。Dコースは、岡崎・眞上が担当しています。

第9回

# オーストラリア体験学習

第9回オーストラリア体験学習には、春期40名・夏期28名の6年生児童が参加しました。

今年度もクイーンズランド州にあるCaloundra Christian College (カランドラ・クリスチャン・カレッジ)、Caloundra City Private School (カランドラ・シティ・プライベート・スクール) の2校にて、授業参加やホームステイを通じて、オーストラリアの文化理解と相互交流を深めてきました。



自分の英語に自信が持てた。自分から話しかけたら英語が通じて会話ができることがわかった。



## 【スケジュール・春期】

- 1日目 : オーストラリアへ出発
- 2日目 : 到着。現地の小学校にて Welcome Ceremony  
午後 ホストファミリーと対面
- 3日目 : 現地の小学校の授業に参加
- 7日目 : Farewell Ceremony
- 8日目 : ホストファミリーとお別れ後、動物園・ブリスベン観光
- 9日目 : 帰国の途へ

## 国際交流賞

国際教育センターは国際交流活動を積極的に行った児童を表彰しています。

2017年度はオーストラリア体験学習や海外でのプログラム参加、そして日本を訪れている外国人との交流など23点もの作品が受賞となり、朝礼で表彰されました。



2018年度国際交流賞の募集期間  
**6月19日(火)～9月25日(火)**

国内外問わず様々な国際交流活動・経験の応募をお待ちしています。

## 2017年度の受賞作品をご紹介します。

(\*受賞当時の学年)

帰り道に出会うスリエさん。毎日会って話をしているうちにスリエさんの出身国ネパールに興味がある。ネパールってどんな国?ネパール語って?スリエさんに教えてもらうだけでなく自ら調べてまとめた学習・交流記録です。

### 「スリエさんとぼく」

沼田 直太郎さん (1年)

こんなに一つのくいのことをしらべたことはなかったからとてもネパールにいきたくなりました。スリエさんがネパールにかえるらいねんまでまたたくさんおはなししてネパールのことをききたいです。

きくだけでなくぼくもほんのいいところをつたえたいです。

(応募作品より抜粋)

